



教育目標 英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

中野中 学校だより

令和6年4月26日(金)

発行 第1号

フォー ニーゼロゴーゼロ

FOR2050 ~2050年に向けて~(令和6年度 第13回 入学式 式辞から)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。中野区立中野中学校は、新入生の皆さんを心から歓迎します。

「地域や社会の役に立つことができる」というよいところがある中野中生は、地域の自慢であり、誇りです。皆さんは、本日から中野中生です。すてきな中学校生活をスタートさせてください。

新しい学校で、すてきなスタートとするための魔法の言葉があります。「置かれた場所で咲きなさい。」です。中野中学校で、自分らしく笑顔で生活していけば、必ず見守ってくれる仲間や先生がいます。中野中学校という場所で、まずは、自分らしいすてきなスタートの花を咲かせてください。そして、一日一日のすてきな花を咲かせ続けてください。

突然ですが、皆さんの2050年を想像してみてください。約25年後を想像するということです。皆さんは38歳か39歳になっています。まさに、地域や社会、そして、世界を支える中心になっている年齢です。ある予測によれば、2050年には、知識の量や繰り返し行われる作業の量は、コンピューターが人間を超えていると言われています。そのようなときに皆さんは、どのような力を身に付けておく必要があるのでしょうか。それは、「人間力(人間にしかできない力)」を身に付けておくということです。そのためには、答えのないものに対して自分で考え、考えたことを仲間と交流し、更により考えへとつなげていく、それを積み重ねていくのです。

中学校生活のスローガンは、「FOR2050 ~2050年に向けて~」です。

未来は、“今”の積み重ねで創られていきます。

中野中学校の教育目標 「英知の風かおり」「友愛の情ふかく」「精励の志つねに」

校訓 「自律」「共生」「創造」



を表現しようと積み重ねていけば、自然とその力は身に付きます。中野中生一人ひとりに適した中学校生活を積み重ねましょう。

新入生の保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠にありがとうございます。教職員を代表しまして、心からお祝い申し上げます。地域の皆様と、共に教職員が一丸となって、保護者の皆様と協力しながら、お子様の教育に全力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

結びに、入学式にあたり、多数の来賓の方々にご列席いただきましたこと、そして、全ての関係の皆様、心から御礼申し上げます。これからも、一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

新入生の健やかな成長を願い、式辞とさせていただきます。

令和6年4月9日

中野区立中野中学校長

あたたかな春のおとずれとともに、私たち130名は中野区立中野中学校の1年生として入学式を迎えました。本日は、私たちのためにこのような素晴らしい入学式を行っていただきありがとうございます。入学式を行ってくださった、校長先生をはじめとする先生方、そして来賓の皆様、保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

2週間程前、私たちは6年間の小学校生活を終えました。これから中学校生活が始まるにあたり、とても楽しみにしていることがあります。勉強と部活動の両立など不安や緊張もありますが、新しい友達との出会いや学校行事など、どのような毎日を過ごすのかとても楽しみです。さらに学校行事や部活動、委員会活動は、先輩方から学ぶことのできる大切な場だと思っています。先輩方の背中を見て、成長していきたいです。そして、これからは小学校よりも勉強が難しくなったり、定期テストがあったりして、勉強面に少し不安を感じています。授業の復習など学校での勉強の他に、家でも計画的に勉強をしていきたいです。中野中学校で過ごす時間は、小学校生活の半分で、あつという間に過ぎていってしまうのではないかと思います。これからの三年間を充実した学校生活にできるように、新しい友達をつくることと同時に、どんなことにも全力で挑戦し、積極的に取り組みたいと思います。今までの生活を振り返り、新しく始まる学校生活に向け、新しい心で過ごしていきたいと思います。その中で、わからなかったりできなかったりして立ち止まってしまうこともあると思いますが、簡単なことから始めて、一步一步前に進んでいけるように努力します。校長先生をはじめ中野中学校の先生方、保護者の皆様、二年生、三年生の先輩方、これからよろしくお願いします。

最後に、中学校生活三年間を通して、夢や目標に向かって努力することを忘れず、何事にも挑戦する勇気をもつこと、そのためにこの130人の仲間と励まし合い支え合っていくことを決意し、誓いの言葉といたします。

暖かい日差しに包まれ桜の花が咲き誇る季節となりました。新入生の皆さん、ご入学誠におめでとうございます。在校生一同、心より歓迎申し上げます。ついに迎えたこの入学式、新入生の皆さんは今何を感じているのでしょうか。中学校という新たな環境、そして始まる新たな生活への期待や不安が少なからずあると思います。

私も二年前、同じような感情を持ち合わせてここ中野中学校の門をくぐりました。しかし暖かい雰囲気や先輩方の優しさにより、すぐに不安を取り除くことができました。皆さんもきっとすぐに学校生活が一瞬にして楽しいものになっていくことでしょう。では、この瞬間から始まっている学校生活をより色濃いものにするために、私が大切だと感じることを三つお話しします。

まず、周りの人との関わりにおいてお互いを思い尊重しあうこと。小学校と比べ、中学校では生徒たち自身でやり遂げなければならないことがとても多いです。先生に頼るばかりでなく、自ら率先して行動を起こそうとする積極性が求められてきます。その中で必要不可欠となってくるのが、先ほど言った「尊重」です。自分たちで協力していく過程の中で、人はみな同じではないので、自然と意見が対立してしまったり、時に自分と他者との違いに驚かされたりすることもあるでしょう。そんな時は、相手の立場に立って考え、自分を見つめ直してみてください。私たち一人一人には私たちだけの個性があり、中学校はその「個性」を存分にらせる場でもあります。相手を受け入れ、認めること。思いやりの気持ちを忘れないこと。手を差し伸べて助け合える、そんな環境を皆さん自身でつくっていきましょう。



次に、自らの行いに責任感をもつこと。部活動や委員会、学級間において、私たち一人一人

の行動は時に大きな影響をもたらします。これは多くの役割が学校づくりの中心を担い、強力な支えとなっているためです。すべきことに対しまっすぐに、かつ真剣に向き合うことにより自分の中にある達成感ややりがいがいより大きいものとなります。常に「中野中生である」という自覚をもち、自主性を忘れずに物事に取り組んでいきましょう。

そして最後に、何よりも大切なのは「学校生活を思い切り楽しむこと」です。中学校での日々は、皆さんが想像している以上に足早に過ぎていきます。この限られた三年間という時間の中でたくさん学んで、たくさん悩んで、たくさん笑って、たくさん失敗してください。ここでの経験や得られた感情は必ず皆さんを成長させ、心強い味方となってくれます。

「トライしないと何も始まらない」

私の大好きなバレーボール日本代表、石川祐希選手の言葉です。挑戦すればするだけ、結果がどうであろうと得られるものは大きくなります。失敗を恐れずに、成功だけを望まずに、多くの壁にぶつかってほしいと思います。

何もかもが新しい景色で、悩み困ることもあるでしょう。そんな時は遠慮なく、周りの先生、先輩、同級生を頼ってください。皆さんの思いを受け止め、大きな支えとなってくれるはずで、在校生の私たちも助けとなり、力になりたいと思っています。ぜひ、隣にいる仲間達と共に学校生活を楽しみ、一生懸命に学びながら成長していきましょう。

これから部活動や委員会などで、皆さんと一緒に活動できることを心待ちにしています。皆さんの学校生活が充実したものとなるようお祈り申し上げ、歓迎の言葉といたします。

< 5月の主な行事 >

日	曜	行事	日	曜	行事
2	木	心臓検診(1)	13	月	朝礼
3	金	憲法記念日	14	火	生徒総会
4	土	みどりの日	15	水	腎臓検診1次
5	日	こどもの日	16	木	校外学習(N)
6	月	振替休日	17	金	校外学習(1)
7	火	熱中症予防教室(1)	21	火	専門委員会
9	木	専門委員会	23	木	中央委員会
10	金	内科検診(2)	27	月	生徒会朝礼
11	土	学校公開日 引き取り訓練 部活動保護者会	28	火	学年別運動会
			31	金	運動会準備
			6/1	土	運動会

